



本郷台小 だより

5 月

横浜市立本郷台小学校
令和2年5月14日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel 045-893-4010

いいね・すごいね・なるほどね

～子どもの心に花を咲かせて～

校長 原 南実子

新緑の季節を迎えました。緑に囲まれている本郷台小では、たくさんの鳥の鳴き声を聞くことができます。ウグイス、シジュウカラ、セキレイ、キジバト、スズメ、ヒヨドリ・・・その中でも特によく聞こえてくるのがウグイスです。4月のはじめと比べると鳴き声がとても上手になっているのがわかります。鳥の鳴き声に耳を澄ませながら、子ども達も聞いているかなあ、と思いを馳せています。

今週より、子どもたちの様子をお聞きするために、ご家庭へのお電話での連絡を始めました。お電話をさせていただき、子どもたちや保護者の皆様の声を聞くことができ、大変嬉しく思っているところです。ご心配なこともお話いただきありがとうございます。休業延長に伴い、毎週月曜日に新しい課題をHPに載せることとしました。前回に引き続き、子どもたちが興味をもって主体的に取り組めるよう、自分で作る学習の計画表や学習の進め方のアドバイス等も載せました。また、日々の心もちが明るく前向きになるように、その日に見つけたこと、びっくりしたこと、不思議に思ったこと、なるほどと思ったこと、など心動かされたものを書き入れる欄も作りしました。おうちの方に花丸やサインを書いていただいたり、音読などを聞いてもらったりするご協力も入れさせていただきました。この状況を受け止め、日々命を守ることを大切にしながら、様々な制限の中で過ごしている子ども達の心を考えると、少しでも前向きな気持ちになれること、心を動かすこと、受け止めてあげることが大切にしていかなければと思います。課題や学年だよりには、そんな思いも乗せてあります。子どもは、認めてもらうと、自分を好きになります。自分を好きになる、という感情はとても大切なもので、肯定的な自己像を形成していくことにつながり、それが、困難なことにも立ち向かおうとする気持ちや、相手に対する思いやりの気持ちや社会のルールを守りながら協力して生活を創り上げていく気持ちを育てていきます。

この状況を乗り切ろうとしている子ども達に、「いいね」「すごいね」「なるほどね」といった「認める」言葉、「共感する」言葉、「受け止める」言葉をたくさんかけてあげたいと思います。子どもたちの心に花を咲かせる、そんな言葉になるはずです。そして、それはこの状況を経験している子ども達、乗り切ろうとしている子ども達の将来に必ずプラスにはたらくことでしょう。保護者の皆様とともに、長い目で子どもの心の育ちをとらえ、心を守っていきたいと思います。大人も心に余裕がなくなる日々が続いています。しんどいなあという正直な気持ちは無理に封印せず、その気持ちと上手に付き合いながら、子どもとともに、感動する気持ちや笑いを忘れず、日々を過ごしてまいりましょう。

《ご連絡》 ★学校再開や今後の学校行事等につきましては、教育委員会からの通知が来ましたらお知らせをいたします。また、PTA活動やボランティア活動につきましても学校再開の状況を鑑みながらお知らせいたしますのでよろしく願いいたします。

★4月に予定していた離任式を行うことができなかったため、離任された職員の皆様からのメッセージをホームページでお届けいたします。